

# がん検診の結果が「要精密検査」の方は必ず精密検査を受けましょう!

がん検診では、精密検査が必要かどうかを調べます。がん検診で精密検査が必要（要精密検査）と判定された場合、「がんの疑いがある」可能性があります。より詳しい検査を行い、本当にがんがあるかを調べる必要があります。精密検査では、がん以外の病気を見つげられることもあります。

早期の乳がんはほとんど自覚症状がありませんが、検診での発見で早期に治療をすれば、**90%以上が助かります\***。また、早期発見により、**身体的にも経済的にも負担の少ない治療**で済み、早めに日常生活に戻ることができます。

\*ここでいう「助かる」とは、がんと診断された人のうち10年後に生存している人の割合です。  
出典：全国がんセンター協議会加盟施設における10年生存率（2003～2006年診断例）

## 検診の流れ

### 1. がん検診

- ・問診
- ・マンモグラフィ検査

### 2. 精密検査

検診の結果、「**要精密検査**」と判定されたら、精密検査を受診

### 3. 「がん」か「がんではない」か判明

乳がん  
乳がん以外の病気

▶ 治療

異常なし

▶ 2年に1回  
定期的ながん検診

## 主な精密検査の内容\*

\*精密検査は以下の検査を組み合わせて行い、他の検査方法がとられることもあります。

### マンモグラフィの追加撮影

乳房のエックス線検査で、乳房内のしこりや石灰化(乳房の一部にカルシウムが沈着したもの)を画像で確認します。乳がん検診よりも多方向から撮影することで、超音波検査で発見しにくい微細な石灰化を見つけることができます。



### 超音波(エコー)検査

乳房に超音波を当て、超音波の反射の様子から乳房内のしこりを画像で確認します。乳腺の密度が濃く、マンモグラフィではしこりがわかりにくい場合でも、超音波検査ではしこりの診断をすることができます。



### 細胞診及び組織診

マンモグラフィの追加検査や超音波検査などの画像診断を行った上で、確定診断のために、乳房に針を刺して細胞を採取する穿刺吸引細胞診や、組織診(針生検)などを行うことがあります。

## お問合せ先

調布市健康推進課

電話:042-441-6100

FAX:042-441-6101

Mail: kenkou@city.chofu.lg.jp